三高生、三本の柱

校長　泉谷俊郎

今年は今までにない形での日々が訪れ、これまでの日常が大きく変わっています。とはいえ、皆さんにとってはかけがえのない高校生としての一年であり、大切な時間です。その状況のなかでできることを精一杯やってくれている姿を頼もしく感じています。

これからの新たな時代を生き、切り開いていく三高生の皆さんに、さらなる高い意識をもって自らの目標を達成してもらいたいと思っています。そのための一つが「三本の柱をもつ」ということです。

三高は校章にも表されているように文武両道の学校で、一人一人が両立をすることが基本です。両立する一つ目の柱はまず学業です。「三高型部活動」として生徒の皆さんが主体者となり、自分の将来に向けて身につけるべきことを明確にし、学業を通して知識や技能だけでなく、思考、判断、表現などの力を磨き、将来に生かせる学力を身につけてください。文武の武は武芸全般をさすことなので、文化部の人も同じ意識で自らを高めましょう。そして、二つ目の柱である部活動を高いレベルで両立させましょう。部活動にはできるだけ参加してください。それは、部活動でこそ学べること、身につくこと、得られることがたくさんあると思います。

そして、文武両道に加えて三高生として三本目の柱をもってください。これから大きく進歩する世の中で大切なことは何かを考え、皆さんがこれから活躍していくために自らが頼りにできる大切な力を得るためです。そのための三本目の柱が自主活動です。目的をもって自らの意志で何かの活動をしましょう。それを深く追究して、何時間でもいいですし、自分の将来に向けての活動でもいいです。

「虎丸ゼミ」のような講座や地域で開かれている講演会に参加することもその一つです。「三高みんなの食堂プロジェクト」での活動や「献血ネットワーク」などのボランティアなど、自主的に参加できることはたくさんあります。様々な人と交流して多様な経験ができる活動をすることを通して、視野が広がり、幅広い考え方が身に付き、人としての深みが増してくるはずです。

このことは自分の希望が叶い、したいことができて、めざす将来を実現する大切な要因になってきます。一つのことに専念して突き詰めることは素晴らしいことですが、高校生の時期にはいろんな分野で活動している人の話を直接聞いたり一緒に活動したり、見たり経験したりして、豊富な知識や多様な感性に触れて、見方・考え方の幅を広げ、深みのある人間をめざしてほしいと思います。そして自らの意志で行動を起こし、そこからまた考えて行動し、さまざまなことを感じ、学び取って自分のものにしてください。

三本の柱の比重のかけ方は、それぞれの人がめざす将来によって違いがあってよいのです。自主活動は年に数回、1回でもいいし、長時間をかけてもいいし、それを自分の力を存分に発揮する場としてもいいです。比率は違ったとしても三高生はだれしもが三本の柱をもつことを実現してください。そこでの経験は将来必ず自分の糧になるはずです。とにかく自分のめざす将来を描き、自らセルフマネジメントをして行動することが大切です。

三高は創立一二〇年を迎え、また新たな時代に向けて歩んでいきます。三高生の共通目標として「三高生、三本の柱」を掲げ、両立を超えた三立を三高生全員の標準として実現して、自らの力で輝かしい未来を手にできるよう一歩一歩進んで行きましょう。